



Technical Guide

保証書は必ず所定事項を記入の上、お客様にお渡しください。
△表示は安全性確保部品を示します。交換時には、必ず当社指定の部品をご使用ください。

RR
**Radio
Radio Cassette**
**FM-MW-SW1~4
6バンドレシーバ**
RF-B300

[発売年月 昭和58年10月]

特長

- FM-MW-SW1~SW4 の6バンド高性能 BCL レシーバ
- 液晶デジタル周波数カウンタ搭載
- チューニングスピード2段切換え可能
- SW にダブルスーパーヘテロダイン方式採用
- プロダクト検波回路採用により SSB/CW もクリアに復調
- バンド幅切換えスイッチ付
- 強電界下でも安心な AM RF ゲイン調整付
- 大型のシグナルインジケータ採用
- 出力1.7W に10cm スピーカ採用で迫力あるサウンド
- 音質調整付

キャピカラー グレー

PROCEED B300


RF-B300

 技術サービス区分
2500 **持込**

標準価格 (昭和58年10月現在)

43,800円

仕様(定格)

受信周波数: FM 76~108MHz
MW 525~1605kHz
SW1 1.6~4MHz
SW2 4~10MHz
SW3 10~20MHz
SW4 20~30MHz

回路方式: FM シングルスーパーヘテロダイン方式
MW シングルスーパーヘテロダイン方式
SW1 シングルスーパーヘテロダイン方式
SW2~SW4 ダブルスーパーヘテロダイン方式

中間周波数: FM 10.7MHz
MW 455kHz
SW 1st 2MHz
2nd 455kHz

受信感度: 最大感度 FM 2.5μV/75Ω (-3dB Lim)
MW 40μV/m/50mW
SW1 35μV/m/50mW
SW2 2.5μV/50mW
SW3 1.0μV/50mW
SW4 4μV/50mW

S/N 20dB FM 3μV/75Ω (S/N 30dB)
MW 200μV/m
SW1 125μV/m
SW2 10μV
SW3 6μV
SW4 10μV

選尺度: SW2~SW4 WIDE ±3.5kHz (-6dB)
±7.0kHz (-50dB)
NARROW ±1.5kHz (-6dB)
±4.0kHz (-50dB)

周波数安定度: ウォームアップ後(電源スイッチ"ON"1時間後)
1時間あたり1kHz以内

イメージ妨害比: MW 35dB (1000kHz)
SW1 25dB (4MHz)
SW2 30dB (10MHz)
SW3 20dB (20MHz)

アンテナ: FM/SW2~SW4 ホイップアンテナ
MW/SW1 フェライトアンテナ

スピーカ: 10cm PM ダイナミックスピーカ
(インピーダンス4Ω)

入力端子: 外部アンテナ/アース端子
(ハイインピーダンス用)

出力端子: イヤホン/外部スピーカ
(インピーダンス4~8Ω) M3
録音出力(インピーダンス10kΩ) M3

実用最大出力: 1.7W (EIAJ/DC)

電池持続時間: 約44時間 (EIAJ)
[付属乾電池 SUM-2(NG) 使用時]

電源: ナショナルネオハイトップ SUM-2(NG) 6個,
9V または AC 100V, 50/60Hz

消費電力: 6W (交流の場合)

動作切換スイッチ「ON/OFF」時の
消費電力……………約1.2W (交流のとき)

最大外形寸法: 348(幅)×215(高さ)×108(奥行)mm (EIAJ)

重量: 約2.5kg (乾電池を含む)

付属品: ショルダベルト (RQC9017Y)……………(1)
電源コード (QFC1100)……………(1)
イヤホン (XEH1A1-X)……………(1)
乾電池 [SUM-2(NG)]……………(6)

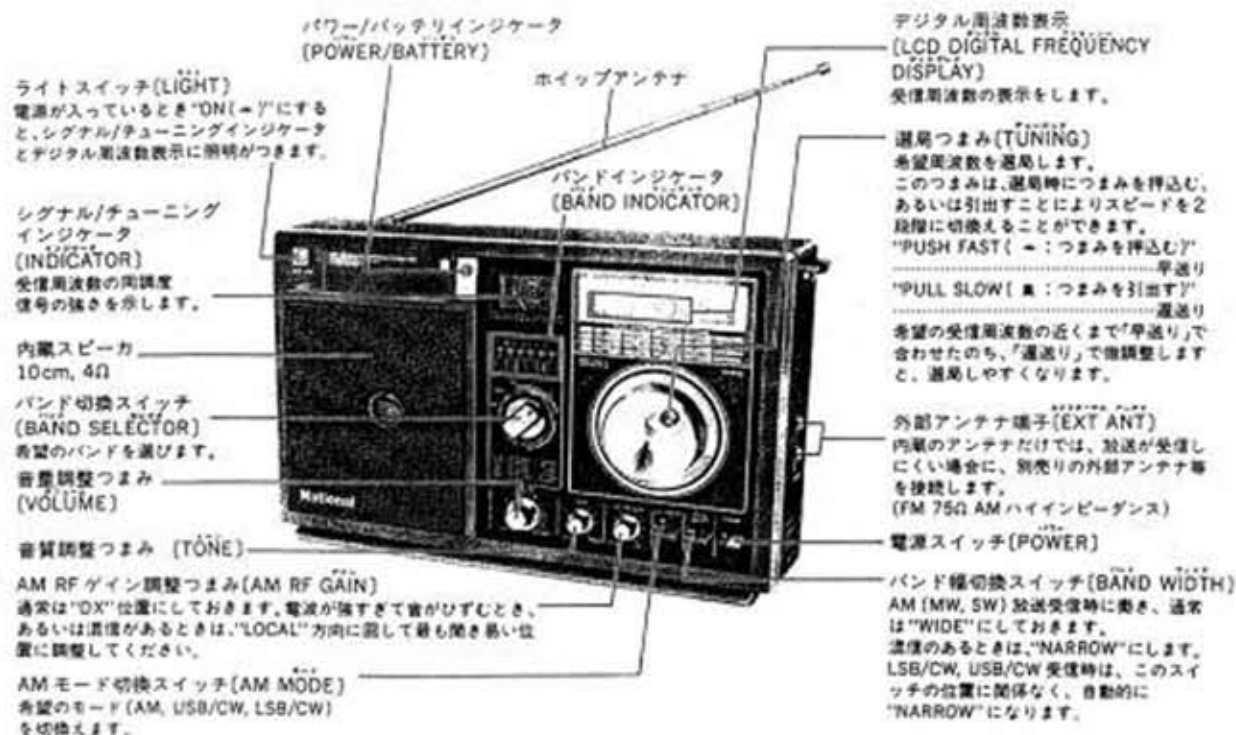
★本機の外観、仕様(定格)、回路、使用部品は性能向上、その他により予告なく変更することがあります。

松下電器産業株式会社 ラジオ事業部

目次

	ページ		ページ
特長、仕様(定格).....	表紙	ICブロック図.....	9
各部の名称.....	2	プリント基板結線図.....	10
分解要領.....	3、4	ブロックダイアグラム.....	11
ロープ駆動図.....	4	キャビネット、電気機構/機構部品配置図.....	12、13
IC202 (RVIMSM5527GS) の機能及び端子説明.....	5、6	包装要領図.....	13
表示管 (RADLCD 453-02) の端子相関図.....	7	電気部品リスト.....	14
調整要領.....	7、8	準備済部品構成明細表.....	15
回路図.....	9		

各部の名称



第1図

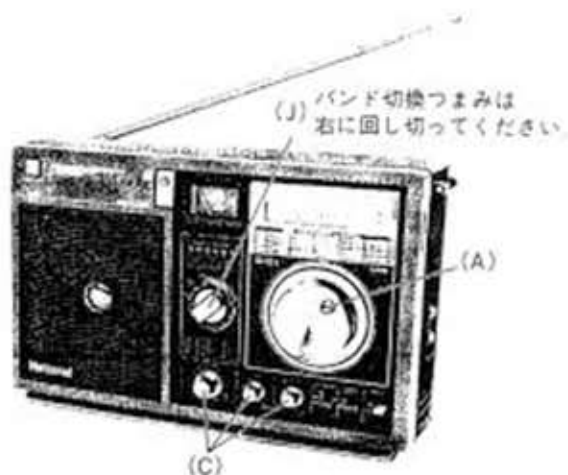


第2図

テープレコーダの 入力端子	使用する 接続コード
AUX IN	ミニミニコード RP-0200
MIC	ラジオコード RP-012B

【注意】録音時の出力レベルは本機の
音量調整つまみの位置に関係
なく一定です。

分解要領



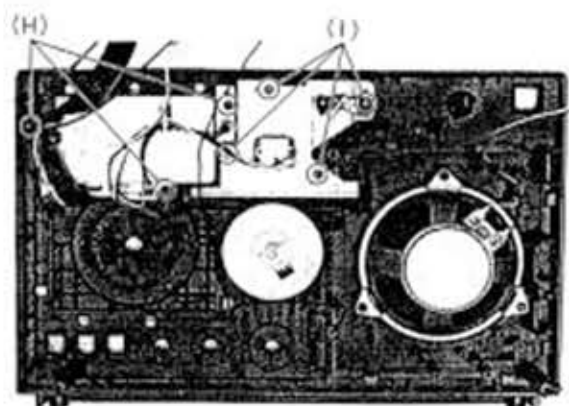
第 3 図



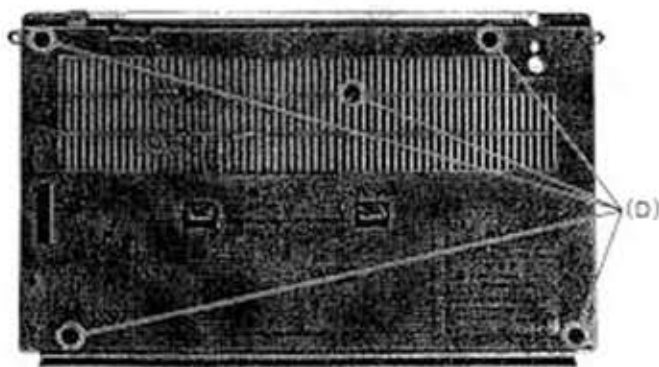
第 7 図



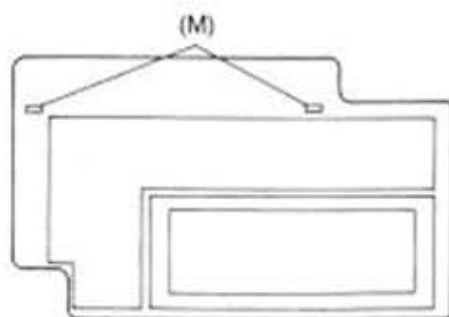
第 4 図



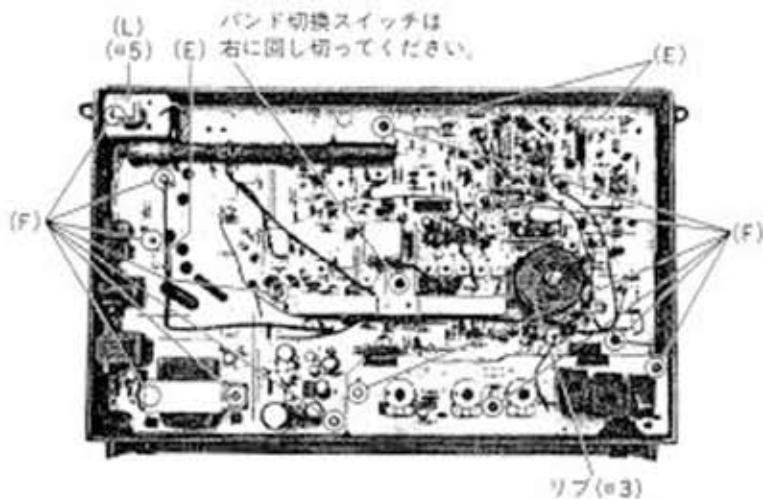
第 8 図



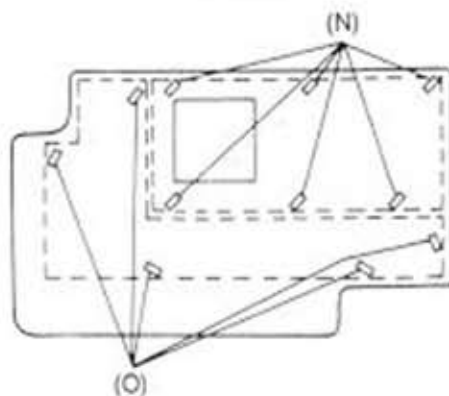
第 5 図



第 9 図

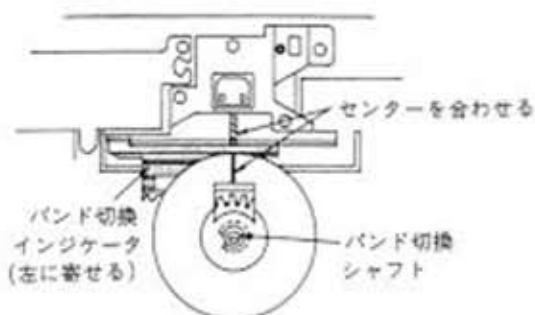


第 6 図

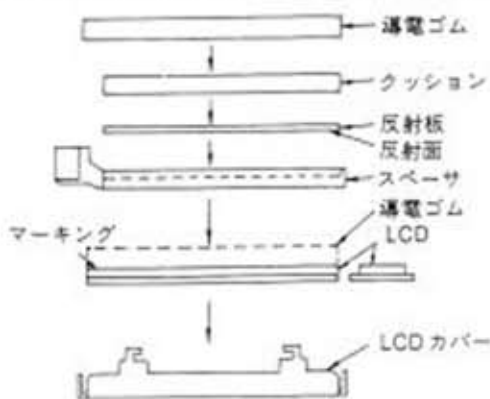


第 10 図

■LCDブロックの組み立て方法



第11図



第12図

順序	取外し項目	図番	取外し部品	取外し要領
1	1-5	3	前面キャビ ※1,2	選局つまみ.....(A)×1個
2		4		ねじ(3×12mm).....(B)×3本
3		3		つまみ.....(C)×3個
4		5		ねじ(3×40mm).....(D)×5本
5		6		ソケット.....(E)×3個
6	1-6	6	プリント基板	ねじ(3×12mm).....(F)×13本
7	1-7	7	シャフト(選局つまみ) ※3	ねじ(3×12mm).....(G)×2本
8	1-5,8	8	LCD	ねじ(3×10mm).....(H)×3本
9	1-5,9	8	メータ	ねじ(3×12mm).....(I)×4本
10	1-5	3	シャフト(バンド切換) ※4	バンド切換つまみ.....(J)×1個
11	10,11	4		Eリング.....(K)×1個
12	1-5,12	6	ライトスイッチ鉤 ※5	ライトスイッチ鉤.....(L)×1個
13	1-5,8,13	9	LCD金具	半田付を外す.....(M)×2個所
14	1-5,8,13,14	10	LCDケース	半田付を外す.....(N)×6個所
15	1-5,8,13-15	10	LCDシールドカバー	半田付を外す.....(O)×5個所

※1. 前面キャビ取付の際には、AMモード切換スイッチは“USB/CW”バンド切換スイッチは“WIDE”、電源スイッチは“ON”の各位置にして取付けてください。

※2. 前面キャビ取付の際にはバンド切換つまみとバンド切換スイッチは右に回しきってください。

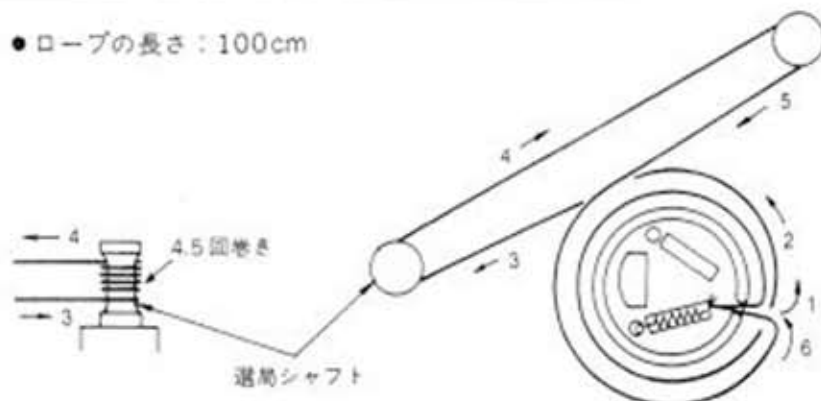
※3. 選局シャフトを取付の際にはリブを第6図の位置にしてください。

※4. バンド切換シャフト取付の際にはバンドインジケータを左に引っ掛せ第11図の様にセンターを合わせてください。

※5. ライトスイッチ鉤を取外す際は、スイッチを“OFF”の状態にしてください。

ロープ駆動図

●ロープの長さ：100cm



第13図